

株主との対話に重点

17年度事業報告会

ナジ
ルハビ
ハビレヅ

ハルナビレヅ(高
崎市足門町39-3、青木
麻生社長)は2日、

7(0101)は2日、
17年度第1回事業報告会

をホテルメトロポリタン
高崎で開き、ハルナゲル
17の株主や関係者ら45

人が出席した。

冒頭、従来の「四半期
報告会」を、持続的な企
業価値の向上を目指し、
株主との対話に重点を置
いた「事業報告会」に改
称したことを発表。続い
て、第1四半期の業績概
況を発表したほか、各事
業会社の取り組み成果と

今後の課題について報告
した。

売上高は60億440
0万円(前期比3%増)、

経常利益が2億2400
万円(同14%増)、当期
純利益で1億5500万
円(同13%増)となった。

ハルナプロデュース
(生産本部)は、アイテ
ム数拡大に伴いライン効
率の低下やトラブルによ
る停止時間も増加した

が、生産性向上の取り組
みにより生産数量は前期
とほぼ同等となった。
HARUNA Asi
aは、国内ではPBの販

売減を補うため新たに輸
入カテゴリーの商品を強
化。タイでは、大手コン
ビニエンスストアやスー
パー向け自社商品とPB
商品の上市に向けてのコ
ンセプト・中身・ラベル



総括を述べる青木社長

のプロモーションと営業
展開を強化した。
青木社長は増収増益の
要因について、受託アイ
テム数の拡充や新規開発
商品とリニューアル商品
の増加、小型容器比率向
上による粗利益額の増加
などを挙げた上で「現在
取り組む商品開発と受注
を下半期へつなげていく
ことが重要」と述べた。
(後藤多麻実)

2017年(平成29年)8月10日(木曜日)